

JA4DND 松浦博美さん

インタビュアー
JH4DIT 井上雅彦さん

三年前に3エリアからUターンし、ローバンドでアクティブに出ておられるJA4DND松浦さん(本誌40mバンドのエディター)は、裏山に素晴らしいアンテナファームを持っています。今回は私、JH4DITが松浦さんのシャックを皆さんにご紹介いたしましょう。

井上 こんにちは、松浦さん。今日はQSL インフォメーションを聞きに来たんじゃなくて、インタビューに来ました。まず現用中の設備について教えてください。

松浦 アンテナは、1.9MHzがダイポール、3.5MHzはCV48改造のフルサイズGP、3.8MHzはAFA75、7MHzは2エレフルサイズ、14MHzは6エレ八木と、全部で5本のアンテナを使っています。

井上 全部モノバンドですね。トライバンド八木1本を使ってるだけの私からは羨ましいかぎりですね。ところで、タワーはどんなものをお使いですか。

松浦 タワーは全部で3本あって、14MHzと7MHzと3.8MHz、各々四角タワーのステー式です。

井上 高さはどのくらいですか。

松浦 3.8MHz用が一番低くて25mくらいで、山頂付近にあり、それから40m下がって7MHz用のタワー、これが30m。さらに40m下がった所に14MHz用の30mのタワーがあり、全て3段4方向にステーを張っています。

井上 タワーは全てステー式のようなのですが、3.8MHzとか7MHzの大型アンテナをどうやって載せたのですか。

松浦 タワーにステーが張ってあることと、タワーが山の斜面に立っているので素人では工事出来ません。今のところプロの職人さんに頼っています。そこらへんがアンテナのメンテナンスの面で苦労しているところです。

井上 そうですね。私も何度かタワーのところまで上がりましたが斜面は急だし、一番下のタワーのところまで登るのに20分もかかりすからね。もうイヤですよ。

松浦 シャックがあるとところからタワーまで高低差が100m位あるので、初めて登る人はそのくらい時間がかかると思いますよ。それもササをかきわけて登るわけですから。運動靴と軍手をしないとタワーの所まで行けません。そう言わずに、手伝ってくださいよ。

井上 たしかにアンテナを調整するどころか、タワーのところまで登るのがひと苦労ですね。ところで、以前は、7MHzのアンテナがクウッドだったと思うのですが、どうして2エレ八木に換えられたのですか。巷では八木よりもクウッドの方がよく飛ぶという話をよく聞きますが。

松浦 三年前に4エリアにQSYした当時は2エレのクウッドを使っていましたが、エレメントが何回か切れるトラブルが発生しその都度、メンテナンスが大変だったので現在は2エレの八木を使用しています。電気的な特性としては、サイドの切れについてはクウッドの方が良かったと思います。又、FB比の差はあまり実感としてないですね。ただし、飛びと受けについては、同一条件下で使ってないけどもあまり差はなかったように思います。でも気分的にはクウッドの方がよく飛んでよく聞こえたような気がします。

井上 その机の上の切換BOXは何ですか。

松浦 これはアンテナ切換器ですよ。シャックから一番下のタワーまで15D4AFを200mフィードし、リレーを使って5本のアンテナに給電しています。おまけにシャックとアンテナが離れ過ぎているのでローテーターもAC100V用のものを2個使っています。E社のモーターも使っていますが、電圧降下がひどくてタワーの下までAC100Vをフィードし、低圧に変換して使っています。

井上 しかしそれにしてもアンテナは抜群のロケーションにセットされていますね。でもケーブルが長過ぎて、せっかく下からリニアを使っても上ではそんなにパワーも出てないでしょう。

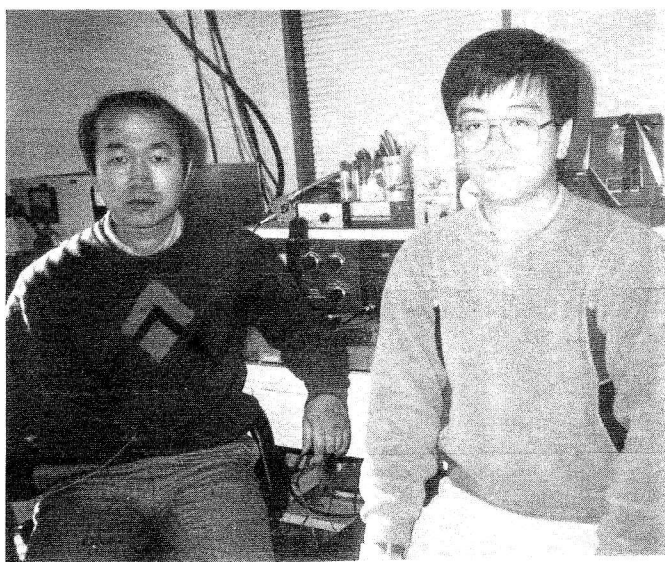
松浦 うん、それはあるけども、7MHzや3.8MHzはあまり感じないよ。でも14MHzまで上がると約3dbは減衰するからね。

井上 3db というとパワーで半分も減衰することになり、受信はともかく、送信でも半分になるのでパイルアップの時には不利じゃないですか。

松浦 確かに14MHzではそれをだいぶ感じますが、そこはロケーションとアンテナでカバーするしかありませんよ。21MHzは7MHzのアンテナでやっていますよ。

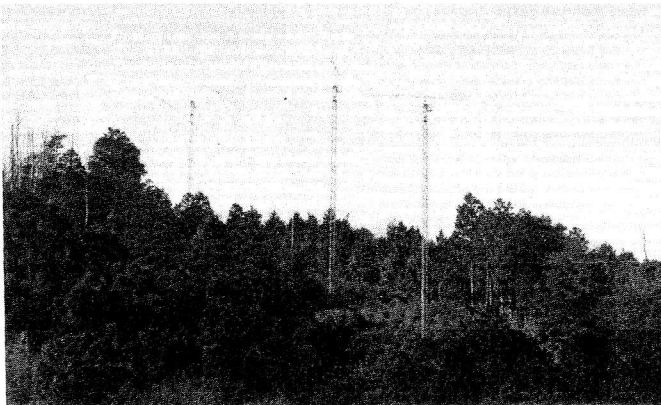
井上 それは言えてますね。松浦さんは時々カリブ方

シャックにて松浦さん(左)とインタビュアーの井上さん。(後ろのリニアが気になりますね...Hi)



ます

松浦さんのアンテナ群。左より3.8MHz 2el, 7MHz 2el, 14MHz 6el。写真では見えにくいですが、3.5MHzのGPが3.5MHzと7MHzのタワーの間にある。



面や、ロングバスのアフリカの局など私の全く聞こえないところとQS0してることがありますねえ。

松浦 そうでもないですよ。西側には山があるのでどうしてもアフリカとか、インド洋方面は苦手ですね。それに、地域差にはどうしても勝てませんね東の局がこっちの聞こえないカリブと交信しているのだから。でも3本目のタワーを山頂近くに立ったので3.8MHzだけは全ての方向に対して良く飛んでるようです。

井上 これだけの設備を使っているのだから他の局が羨ましむのもよく分かりますね。高さはあるし敷地も広い。でも何か、特に困っていることがありますか。例えばインターフェアとか。

松浦 インターフェアについては皆無です。アンテナが民家からかなり離れているので安心してオペレートしています。3エリアに住んでた頃はだいぶ悩まされたけど、でも近くに高压の送電鉄塔があるから、ノイズでS40db以上も振ることがあるし、又、将来的には原発の関係で送電電圧が50万ボルトまで上るそうなので全くまっています。

井上 こちらへ帰られてから、めぼしい戦果？

松浦 最近のことで言うと3.8MHzの4U1UNとJX1UGかな。以前は殆んどローバンドにQRVしてなくて、7MHzで20カントリー位しか交信していなかったけど、ここに来て5バンドDXCCも完成出来たし、DXCCも残り1桁となったことかな。それにしばらくの間QRTしてたから、こちらへ帰って約8000局くらいと交信しましたよ。カード書きも大変だったけどね。

井上 現存カントリーで残り1桁とは、私のようなYMからみれば気の遠くなるような数ですね。

松浦 でも5~6年QRTしていましたから、その間に5R8、9U5、VU7等を逃していますよ。それにCWが苦手なので、CW DXCCはまだまです。

井上 カードのコンファームについて何か努力されていますか。

松浦 特にないのですが、最近IRCは殆んど使いません。又、JA1UQP山田さんに教わったのですがダイレクトで請求した分については、全部記録を取

ています。いつ誰のものを出して、いつ返送されたか、又は返っていないか等がすぐ分かります。いずれパソコン化したいと思っています。そして主要な国の切手入手し、SASEを用意するのも有効と思います。

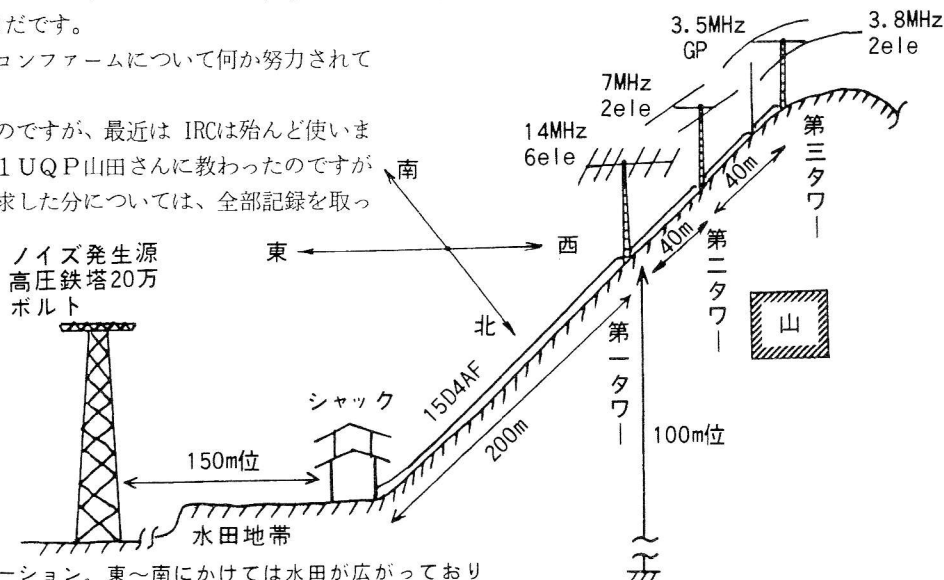
井上 今後の目標は。

松浦 ローバンドを主としてやります。そして、160mも本格的にトライしようと思っはいるのですが。皆さんの耳のレベルに追いつけませんのでイライラしています。専用リアも用意し、スタンバイしてはいるのですが…。それに5BWAZの21MHzがまだできていませんので、これも何とか今年中には片付けたいと思っています。そしてハイバンド用にタワー直下にリグを設置してシャックからリモコンする夢を描いています。が、実現するでしょうかねー。

井上 最後に我々山陰地方のDXアクティビティーを向上させるには何と良い方法はありますか。

松浦 それをいつも考えているのですが、まず我々が、とにかく、アクティブに出ることだと思いますよ。そして少しでも興味がある人や若い人をどんどん輪の中に引っ張って来ようと思っています。井上さんも頑張ってください。

井上 本日はどうもありがとうございました。



松浦さんのロケーション。東~南にかけては水田が広がっており障害物は何もない。